

仁方地区における取組状況について

令和6年度末に、仁方地区自治会連合会から、利用が低迷している仁方小須磨線の運用改善等についての相談を受けたことから、仁方地区を重点取組地区に位置付け、仁方小須磨線に代わる新たな移動サービスの検討を開始することとなりました。

令和7年度には、同連合会内に設置した検討小委員会に市も参画し、定期的に協議・検討を重ねるとともに、同年11月には地区の全世帯を対象にしたアンケートを実施しました。

1 仁方小須磨線の運行概要

- (1) 運行事業者 富士交通株式会社
 (2) 路線数 1路線1系統
 (3) 運行便数 平日25便、土曜日17便、日曜日・祝日9便
 (4) 運賃 1乗車200円（小学生以下100円）
 (5) 利用状況等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	7,755	6,572	6,112	6,063	6,040	5,883
1便当たりの平均利用者数（人／便）	0.7	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
呉市負担額（千円）	16,313	15,613	15,311	15,926	16,217	16,205
経常収支率（％）	5.3	5.2	4.9	4.4	4.7	5.0

2 住民アンケートの実施概要

- (1) 配布枚数：2,006世帯
 (2) 回収件数：968件（回収率48.3％）
 (3) 結果：添付参照

参考	仁方地区人口	人数〔人〕	割合〔％〕
	65歳以上	2,249	41.5
	15歳～65歳未満	2,638	48.8
	15歳未満	522	9.7
	計	5,409	100.0

単位：件

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	不明・空欄	総計	割合
男性	1		15	16	34	55	103	50	2	276	28.5%
女性	1	6	25	65	91	137	202	129	3	659	68.1%
その他			1	1	2		4	6		14	1.4%
不明・空欄					2	2	7	7	1	19	2.0%
総計	2	6	41	82	129	194	316	192	6	968	100.0%
割合	0.2%	0.6%	4.2%	8.5%	13.3%	20.0%	32.6%	19.8%	0.6%	100.0%	

3 国庫補助金の活用について

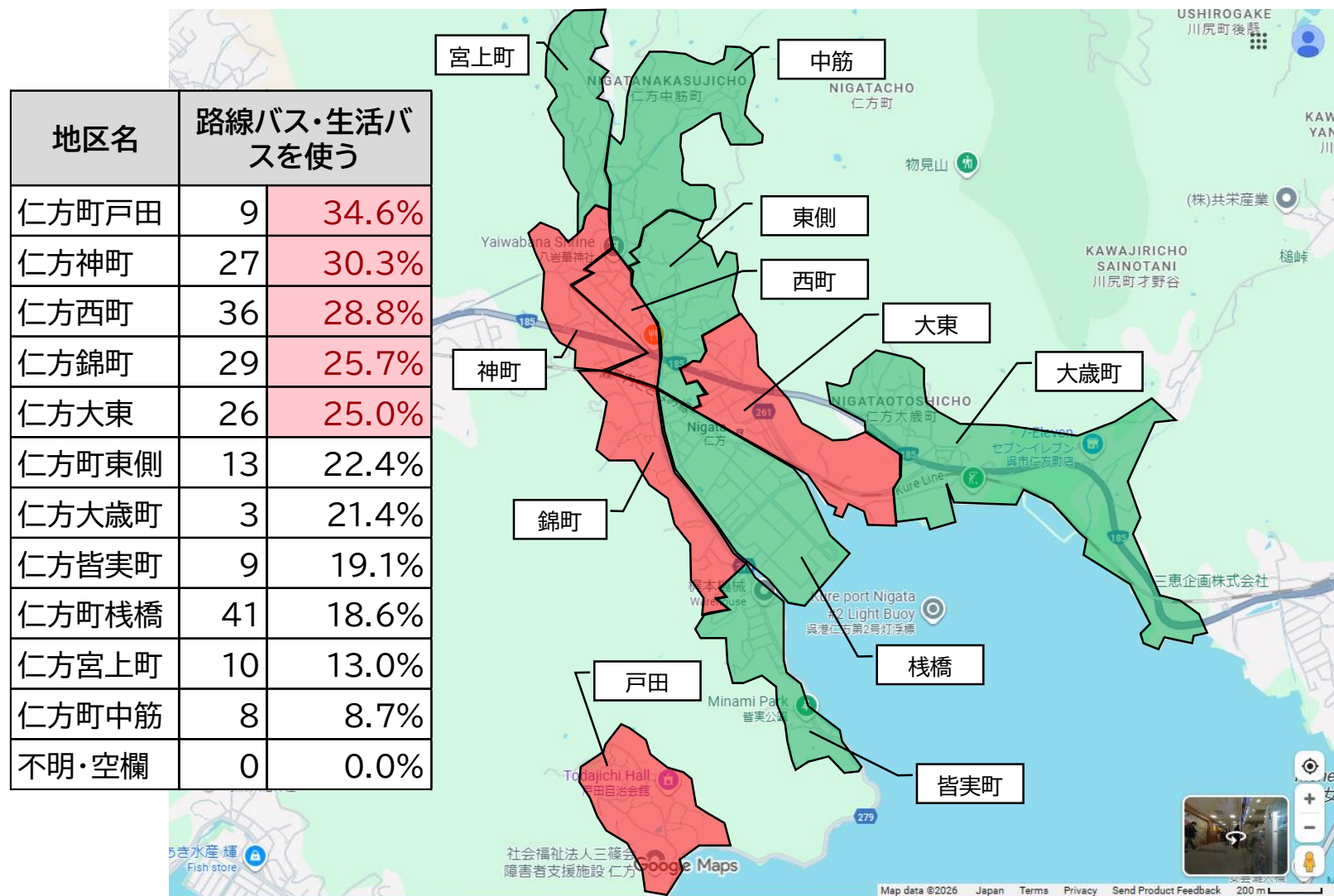
試験運行の実施に当たっては、国土交通省の「交通空白」解消タイプの補助事業を活用する予定としています（令和8年5月「交通空白」解消タイプに採択され、交付申請済）。

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年 7月 「交通空白」解消タイプの交付決定
 住民説明会（試験運行の事業計画に対する意見集約）
 8月 試験運行の事業計画の協議（呉市地域公共交通協議会）
 9月 住民説明会（試験運行の情報提供）
 10月 試験運行の開始

参考 住民アンケートの結果①

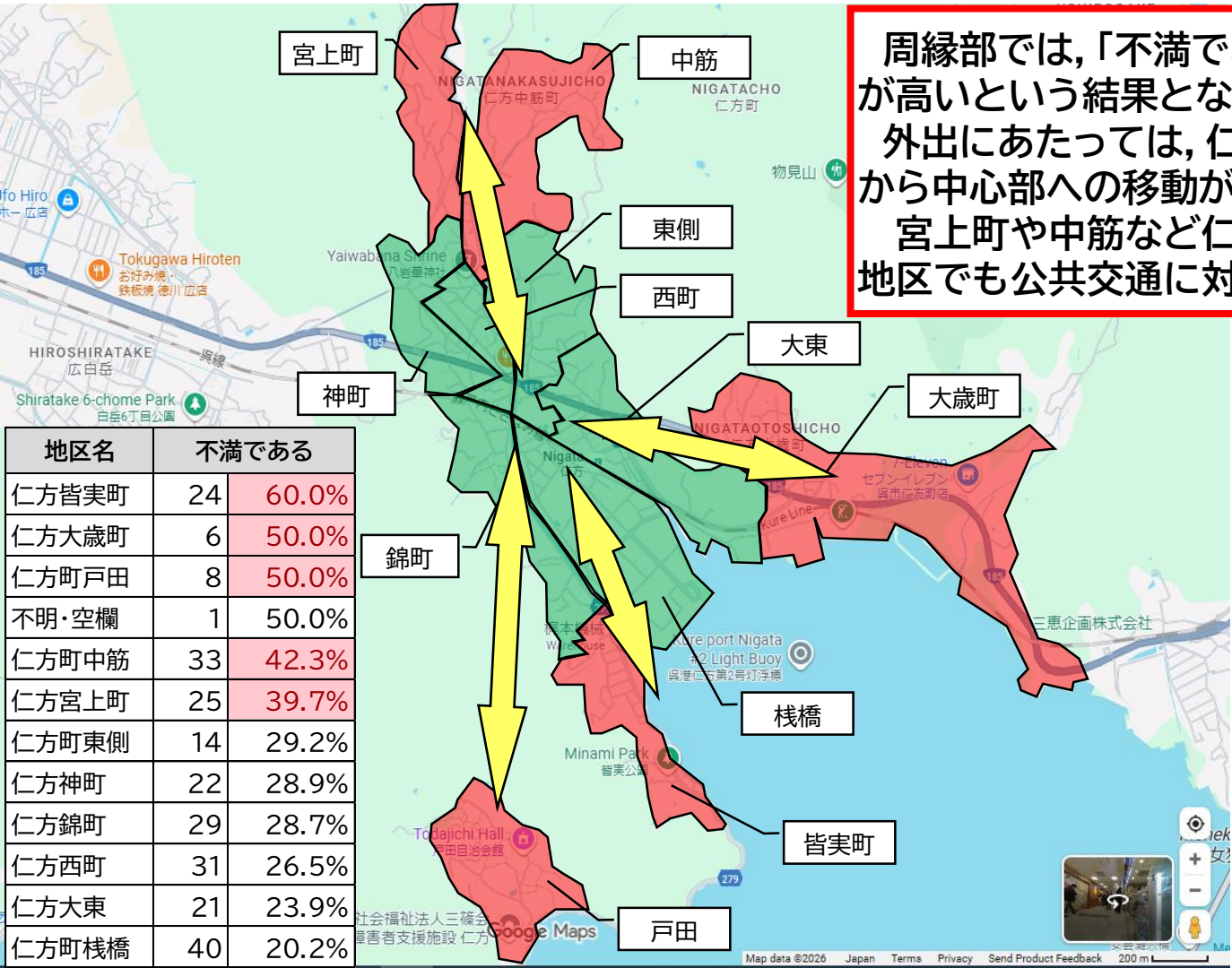
- ・問 「路線バス・生活バスを使う」と回答した人の割合が高い地区(■)



参考 住民アンケートの結果②

・問 仁方地区における路線バスなどの公共交通の現状に対し満足していますか。

「不満である」と回答した人の割合が高い地区(■)



周縁部では、「不満である」と回答した人の割合が高いという結果となった。
外出にあたっては、仁方地区の地形的に周縁部から中心部への移動が必ず必要となる。
宮上町や中筋など仁方小須磨線の運行がない地区でも公共交通に対する不満が高い。

参考 住民アンケートの結果③

・問 不満・困っている理由は？

■バス

- ・ バスの便数・本数が少ない
- ・ 生活バスの便数が少ない
- ・ 朝夕・昼間・夜間の便が不足
- ・ 病院・買物方面の便が少ない
- ・ 直通がなく乗り継ぎが必要
- ・ JR・他バスとの接続が悪い
- ・ 遅れても待ってくれない
- ・ バス停が遠い／坂道が多い
- ・ ノンステップバスが少ない

■その他

- ・ バス停・駅が遠い
- ・ 坂道・山道が多い
- ・ 足腰が悪く歩けない
- ・ 高齢化が進んでいる
- ・ 免許返納したくてもできない
- ・ 車がないと生活できない
- ・ 人口減少で仕方ない
- ・ 将来が不安
- ・ マイクロバス・乗合タクシー提案

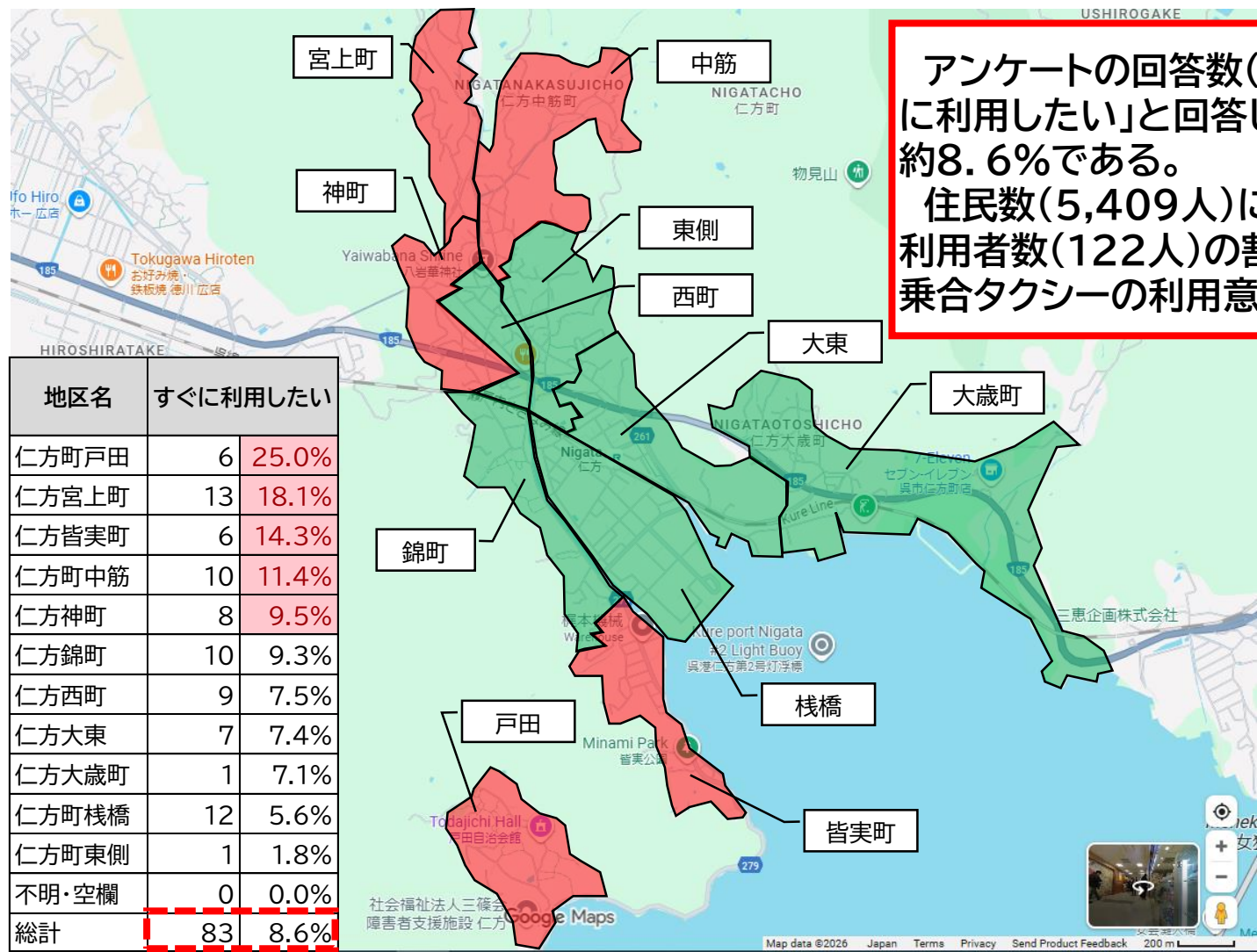
■JR呉線

- ・ JR呉線の便数が少ない
- ・ 1時間に1本しかない
- ・ 広止まり・始発が多い
- ・ 終電が早い
- ・ 通勤・帰宅時間帯が不足
- ・ 遅延・運休が多い
- ・ 雨・災害・計画運休で止まりやすい
- ・ 広駅・仁方駅での接続が悪い
- ・ 駅設備（エレベーター等）が不十分

参考 住民アンケートの結果④

・問 仁方地区で乗合タクシーが導入されたら利用しますか。

「すぐに利用したい」と回答した人の割合が高い地区(■)



アンケートの回答数(968件)に対して「すぐに利用したい」と回答した人(83人)の割合は、約8.6%である。
住民数(5,409人)に対する仁方小須磨線の利用者数(122人)の割合は、約2.3%であり、乗合タクシーの利用意向が高い結果となった。